

指定管理者モニタリング チェック表

評点の基本的考え方	点数
優れている	4点
できている	3点
概ねできている	2点
改善が必要である	1点

令和8年8月24日
市立病院改革調査特別委員会
資料7

令和7年度

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
1.運営	1	病院の利用者数の状況はどうか(入院収入、入院延患者数、入院診療単価など)	4	【令和7年度の実績について】 7年度の入院収入は96.7億円で、6年度の84.9億円から増収になっており、1日当たりの入院延患者数も388.6人と、6年度の371.4人から増加した。 これらにより、入院診療単価についても、6年度の6万2,845円から5,367円増の6万8,212円と着実に増加している。 【令和8年度に向けて】 8年度も引き続き、救急患者の受入れ強化や地域の医療機関と密に連携し入退院支援を行うとともに、急性期総合体制加算(旧急性期充実体制加算)の算定維持に向けて、手術実績の向上を目指し良好な病院経営をさらに推し進める。	4	【市の評価】 診療単価、1日当たり患者数ともに経営強化プランの目標を超えており、評価している。 【指定管理者に対する意見】
	2	病院の利用者数の状況はどうか(外来収入、外来延患者数、外来診療単価など)	4	【令和7年度の実績について】 7年度の外來収入は25.9億円で、6年度の23.9億円から増収になるとともに、1日当たりの外來患者数も676.3人と、6年度の640.9人から増加した。 これらにより、外來診療単価についても、6年度の1万5,416円から333円増加し、1万5,749円と着実に増加している。 【令和8年度に向けて】 総合医療センターの広報誌やWebサイトで医師の専門性や診療実績を発信することに加え、地域医療機関との顔の見える関係性を深め、紹介・逆紹介の活性化による外來機能の分化と連携を推進していく。	4	【市の評価】 診療単価、1日当たり患者数ともに経営強化プランの目標を大幅に超えており、評価している。 【指定管理者に対する意見】
	3	積極的な救急医療の提供ができているか(救急車搬送患者受入数など)	4	【令和7年度の実績について】 ① 7年度では、12,389件の救急及び夜間休日外來の患者を受け入れており、月平均は1032.4件で、6年度の12,274件を上回った。 ② 7年度の救急搬送の応需率は97.3%で、6年度の92.7%からさらに改善することができた。 【令和8年度に向けて】 救急医ホットライン(医師専用直通回線)の活用により「断らない救急」を徹底し、救急隊との連携深化と7年度の入受実績の継続を通じ、地域の中核病院として安定的な救急医療の提供責任を果たしていく。	4	【市の評価】 救急応需率は高く推移しており、積極的な救急医療を提供できていると評価している。特に川西救急の応需率が向上していることから、市民が安心できる医療サービスの提供に貢献していると言える。 【指定管理者に対する意見】
	4	小児医療が適切に提供できているか(患者受入数など)	3	【令和7年度の実績について】 ① 7年度の小児科は、常勤医師7人と非常勤医師4人の11人体制で診療を行い、発達障害専門外來でも土曜日の予約診を実施した。 小児科における7年度の月平均の入院患者数は201.2人(6年度は202.6人)で前年度をわずかに下回ったが、外來患者数は1080.4人(6年度は989.2人)で前年度を上回った。 ③ 川西市内中学2年生ビロリ菌検査事業に継続して協力した。 【令和8年度に向けて】 常勤医6名体制下でも、増える外來ニーズへ柔軟に対応していく。また、専用ホットラインを柱に地域連携と役割分担を明確化し、小児医療の中核として安定的診療体制を維持していく。	4	【市の評価】 入院患者数は微減したものの、外來患者数は増加傾向にあり、小児医療の適切な提供体制が整っていることを評価している。また、ホットラインを運用していることも評価している。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	5	周産期医療が適切に提供できているか(分娩件数など)	4	【令和7年度の実績について】 ① 7年度の産婦人科は、常勤医師8人と非常勤医師1人の9人体制で診療を行った。 7年度の産婦人科における分娩件数は635件で、月平均52.9件は、6年度の52.1件を上回った。うち、無痛分娩は166件で月平均13.8人は、6年度12.2人を1.6人上回った。 【令和8年度に向けて】 安全な無痛分娩の実施を軸に、Webでの情報発信を強化し市外ニーズも着実に取り込むとともに、市内唯一の分娩施設として、里帰り出産等の受入体制を整え分娩件数の更なる増加を図っていく。	4	【市の評価】 昨年度と同水準の分娩件数を維持しているほか、無痛分娩の安全な実施に取り組むことができている。 【指定管理者に対する意見】
	6	適切ながん医療を提供できているか(化学療法患者の受入数など)	3	【令和7年度の実績について】 がん手術件数:478件(月平均39.8件)(6年度月平均36.75件) 外来化学療法件数:1,625件(月平均135.4件)(6年度月平均127.8件) 【令和8年度に向けて】 診療実績の広報を充実させ、がん医療の専門性を周知するとともに、徹底した返書管理と開業医への訪問により地域連携を深化させ、手術・化学療法の伸長に合わせた紹介患者確保に努める。	3	【市の評価】 手術件数、外来化学療法法の患者数がともに増加している。 【指定管理者に対する意見】
	7	適切な急性期脳卒中医療への対応ができているか(脳卒中患者の受入数など)	4	【令和7年度の実績について】 ① 脳神経外科手術件数:414件(月平均34.5件)(6年度月平均16.1件) ② 脳神経外科医ホットライン(救急隊や開業医と医師を繋ぐ直通回線)を通じて、紹介患者の獲得に努めている。 ③ 7階西病棟内にSCU(脳卒中集中治療室)施設基準を満たした3床を確保し、適切な急性期脳卒中診療に努めている。 【令和8年度に向けて】 脳神経外科医ホットライン(救急隊や開業医と医師を繋ぐ直通回線)等により、脳外手術件数が前年度から倍増した。引き続きSCU3床を活用し、高度な急性期脳卒中診療体制を維持・強化する。	4	【市の評価】 手術件数が大きく増加しており、SCUの施設基準を維持していることを高く評価している。また、ホットラインを活用することにより、治療開始までの時間を短縮し、迅速な医療対応を実現している。 【指定管理者に対する意見】
	8	心疾患に関する医療体制の充実を図っているか(心臓カテーテル手術件数など)	4	【令和7年度の実績について】 ① 心カテ件数:211件(月平均:17.6件)(6年度月平均16件) ② 循環器内科医ホットラインを通じて、紹介患者の確保に努めている。 【令和8年度に向けて】 循環器内科医ホットラインを通じた紹介患者の受入により、手術件数は前年を上回った。今後も同体制を継続し、循環器救急の充実を図る。	4	【市の評価】 ホットラインを活用することにより、治療開始までの時間を短縮し、迅速な医療対応を実現している。 【指定管理者に対する意見】
	9	糖尿病の診断、患者教育、糖尿病合併症の集学的治療を行っているか	3	【令和7年度の実績について】 糖尿病合併症管理料算定件数:36件(月平均3.0件)(6年度月平均3.1件) 糖尿病透析予防指導管理料算定件数:9件(月平均0.8件)(6年度月平均2.4件) 【令和8年度に向けて】 医師の退職によりいずれも前年度より減少した。引き続き糖尿病患者会(川西さくら会)の運営を通じて、糖尿病についての正しい知識の普及啓発を継続する。	3	【市の評価】 糖尿病患者に係る集学的治療が行えている。また、糖尿病患者会を通じて、糖尿病の予防などに尽力している。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	10	認知症を合併した患者への対応ができているか	3	【令和7年度の実績について】 大学医局から週3回精神科専門医(非常勤)の派遣を受け、病棟コンサルタントとして認知症を合併した入院患者に対応した。 【令和8年度に向けて】 精神科医の非常勤派遣により体制を維持した。今後は常勤医の確保や認定看護師の配置を推進し、認知症ケア加算の継続と質向上を図る。	3	【市の評価】 病棟コンサルティングとして精神科医が在籍することにより、主治医の負担軽減に寄与していると評価している。 【指定管理者に対する意見】
	11	その他何か特色ある医療に取り組んでいるか	4	【令和7年度の実績について】 潰瘍性大腸炎やクローン病に代表される炎症性腸疾患(IBD)に対応するため、5月からIBDセンターを開設した。また、11月から膠原病の専門医を非常勤で配置し、膠原病・リウマチ内科の外来診療を開始しており、より幅広い疾病に対応できる体制を整えた。 【令和8年度に向けて】 7年度に開設したIBDセンターと膠原病外来の定着を図るとともに、令和8年2月に運用を開始した手術支援ロボット『hinotori』を有効活用し、大学等との連携による高度かつ専門的な医療提供体制の更なる充実に推進する。	4	【市の評価】 IBDセンターの開設、膠原病・リウマチ内科の外来診療の開始や手術支援ロボットを導入するなど、幅広い疾病に対応する医療を提供できている。 【指定管理者に対する意見】
	12	地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの構成員として、地域における医療機関相互間の機能分担、連携を進めるなど、その役割が果たしているか	4	【令和7年度の実績について】 患者支援センターが中心になり、川西・猪名川地域における回復期及び慢性期等の医療機関と密に情報交換を行うなど、積極的に患者の転院調整を行った。 ② 脳卒中地域連携パス及び大腿骨頸部・椎体骨折地域連携パスの本格稼働に向け、施設基準の取得と医療機関との連携強化を進めた。 ③ BCPの策定が義務づけられている介護施設に対して、地域医療連携推進法人を通じて感染管理認定看護師が協力した。 【令和8年度に向けて】 断らない医療を継続しつつ、患者支援センターが核となり誤嚥性肺炎等の地域連携パス運用を推進するとともに、法人内の多職種連携を深化させ、地域完結型医療の更なる充実と質の向上を図る。	4	【市の評価】 地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの中心的な役割を担う医療機関として、地域医療等の向上に努めている。 【指定管理者に対する意見】
	13	市の事業において公立病院の協力を必要とする場合は、可能な限り協力しているか	4	【令和7年度の実績について】 ① 川西市内中学2年生ピロリ菌検査事業に協力した。 ② 幼児の眼科検診に視能訓練士を派遣した。 ③ 市からの依頼を受け、市の安全衛生管理を行うための産業医の派遣を継続した。 ④ 市内唯一の分娩取扱い医療機関として、産後ケア事業に協力した。 【令和8年度に向けて】 居住地に関わらず県内全域の産後サービスを必要とする方を受け入れるため、引き続き兵庫県産後ケア事業に協力するとともに、ピロリ菌検査や眼科検診等の市事業へ協力し、公立病院として地域住民の健康保持に寄与していく。	4	【市の評価】 中学2年生ピロリ菌検査事業をはじめとした市の事業に協力することができている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	18	患者の待ち時間短縮に努めているか(受付、診療、検査、会計など)	3	【令和7年度の実績について】 PRチラシやホームページなどでの活用に加え、外来診察室前のモニターでも診療費後払いシステムやモバイル診察券を周知し、患者の待ち時間短縮に努めた。 ② 待ち時間調査を実施し、職員間でフィードバックを行った。 【令和8年度に向けて】 システム利用率の向上を図り、会計待ち時間の更なる短縮を推進する。定期的な待ち時間調査に基づき課題の分析と改善を継続し、患者の負担軽減と快適な外来環境の構築に努める。	2	【市の評価】 待ち時間短縮につながるシステムについて周知し、普及率は微増しているものの、期待する効果までは得られていない。 【指定管理者に対する意見】 待ち時間のストレス軽減には理由や目安時間を患者に丁寧に説明することが必要。不明瞭な待ち時間をなくすように運用改善すること。
	19	患者・家族の意見を聞き、接遇などの改善に活用しているか また苦情等に適切に対応しているか	3	【令和7年度の実績について】 毎週開催される患者サポート体制カンファレンスにおいてご意見、苦情などを集約し、重要なものは隔日の朝に開催される病院長連絡会議で情報共有を図った。 センター内には、「患者さま意見箱」や「ふれあいの箱」といったものを設置するとともに、その回答を院内やホームページに掲示し、職員の接遇をはじめとした苦情案件の改善に努めた。 【令和8年度に向けて】 引き続き各会議体での迅速な情報共有と意見箱による提案収集を継続する。寄せられた苦情や意見を真摯に受け止め、掲示を通じた透明性の確保と接遇改善に努める。	3	【市の評価】 医療サポート体制カンファレンスを中心に、適切に対応している。 【指定管理者に対する意見】
	20	点字ブロックや窓口インターホンなどのバリアフリー設備を適切に運用し、障がいの内容に沿って声かけや案内をするなど、医療機関における障がい者への合理的配慮ができているか	3	【令和7年度の実績について】 ① 現有の設備を活用し、患者が利用しやすい備品配置等を心掛けた。 正面玄関に案内職員を配置し、車イス等で来院された患者の案内誘導を継続して行った。また、耳が聞こえづらい患者に対しては、マスクを外してゆっくり話すといった対応も行った。 【令和8年度に向けて】 適宜見直しを行い、適切に実施していく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
2.職員に関する基本的要件	21	仕様書で定めた診療科・センターの機能を維持するために必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保はできているか	4	【令和7年度の実績について】 7年度開始時は常勤医師112名と常勤看護職395名、全職種を合わせて904名で、前年度より充実した職員配置体制により医療の提供を行った。 ② 令和8年3月1日時点では、常勤医師は110名、常勤看護職は375名、全職種では885名の配置を行った。 【令和8年度に向けて】 ① 8年度開始時は常勤医師121名と常勤看護職408名、全職種を合わせて953名の職員配置を行っており、引き続き人材確保に努めていく。 医師については、4月時点で内科系(消化器、循環器、呼吸器、腎臓、総合)、外科系(消化器、呼吸器、整形)の各診療科において常勤医師を増員した。今後も大学派遣の継続を働きかけるとともに、看護師の中途採用や施設見学へも柔軟に対応するなど、全職種での安定的な人材確保を通じて、医療サービスの更なる向上を推進する。	4	【市の評価】 大学医局の派遣協力依頼や途中採用等により、充実した職員配置体制を確保している。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	22	7対1の看護配置を維持できるよう看護師の負担軽減に取り組んでいるか(病棟医療クラークや看護補助者の拡充など)	4	【令和7年度の実績について】 介護福祉士養成機関と連携し、看護補助者(看護助手・介護福祉士等)の確保に努めた。常勤の看護補助者の確保が困難であることから、非常勤(パート、派遣)を昨年度よりは減少したものの令和8年3月1日時点で39名配置した。 【令和8年度に向けて】 7対1看護体制を堅持するため、養成機関との連携や多様な雇用形態による看護補助者の安定的な確保に注力し、看護師の業務負担軽減をより一層推進する。	4	【市の評価】 看護補助者を多く採用し、看護師の負担軽減に取り組んでいる。 【指定管理者に対する意見】
	23	医療情報技術や地域医療など、各分野に精通した職員の育成ができているか また研修や自己研鑽のための制度が整備できているか	4	【令和7年度の実績について】 ① 院内研修や法人教育委員会主催の研修制度を最大限に活用し、多角的な視点を持つ職員の育成を推進した。 ② 目標管理制度の適正な運用と丁寧な個人面談の実施により、個々の能力伸長とモチベーション向上を図った。 ③ 法人共通のグローバル研修を通じて、幅広い知見を備えた人材育成に努めた。 【令和8年度に向けて】 引き続き院内及び法人の研修制度を戦略的に活用し、専門性の高い人材を育成する。また、目標管理制度を通じた丁寧な面談を継続し、職員の意欲向上と能力開発を推進する。	4	【市の評価】 研修目的として法人内病院間の人事異動も積極的に行われており、また、年間15回以上の院内研修を行っており、幅広く職員の育成ができていと評価している。 【指定管理者に対する意見】
	24	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組んでいるか また長時間労働の是正や非正規雇用の処遇改善、子育て支援など働き方改革に取り組んでいるか	3	【令和7年度の実績について】 ① 勤怠管理システムの活用により勤務時間を可視化し、業務効率化を通じて時間外勤務の削減を推進した。 ② 短時間勤務や男性育休等の子育て支援制度の周知を図った。 ③ 夜勤や人事異動等を免除する「限定付き正職員制度」を運用し、個々の事情に合わせた多様な働き方を選択できる環境を整備した。 【令和8年度に向けて】 相談業務の充実により育休等の制度利用を促進するとともに、年次有給休暇の取得推奨や業務効率化を継続し、職員が安心して働き続けられる柔軟な職場環境の構築を推進する。	3	【市の評価】 時間外勤務の削減や短時間勤務等の多様な働き方が選択可能な環境を整えることができています。 【指定管理者に対する意見】
	25	職員の福利厚生の上に努めているか	3	【令和7年度の実績について】 ① 卒後6年未満の看護師や研修医を対象とした借上住宅制度を運用し、低廉な負担での住居確保を支援した。 ② 法人関連保育園との連携により職員の円滑な入職・復職を支援した。 ③ コロナ禍で休止していた会食や親睦バスツアー等の法人イベントを再開し、職種を超えた交流促進とリフレッシュ機会の創出に努めた。 【令和8年度に向けて】 引き続き、職員寮や保育園について対応を行っていく。 引き続き若手職員への住居支援や保育体制の維持に努め、生活基盤の安定を図る。また、法人イベントの定例開催等を通じて職員間の親睦を深め、より魅力ある職場環境を構築する。	3	【市の評価】 住居確保、保育園の支援や職種を超えた交流促進を図っている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
3.建物・設備・備品等管理	26	施設及び設備の日常点検、保守及び法定点検の保守管理業務を行っているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	27	備品や医療機器は台帳を用いて適切に管理できているか また備品や医療機器の廃棄などの取扱いについては、市に報告しているか(指定管理者が購入したものは除く)	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	28	入院・外来患者及びその他の来院者の利便性向上のため、売店その他の施設、設備を設置運営しているか また第三者に設置運営させる場合は、基本協定書第13条(再委託の禁止)の手続きに準じ、市の承認を受けているか	3	【令和7年度の実績について】 委託によりカフェを運営しており、実施にあたっては基本協定書に基づき市の承認を得ている。また、病棟各階には飲料自動販売機を設置している。 入院に必要な物品等の販売については、カフェの営業時間に限らず購入できるように販売場所を総合受付に移転することで、利便性の向上を図った。 【令和8年度に向けて】 施設の利便性に係る利用者からの多様な要望を真摯に受け止め、既存設備の販売品目拡充や運用改善に向けた検討を慎重に行い、限られた環境下においても利便性の向上を図る。	3	【市の評価】 入院に必要な物品の販売を24時間体制にしたことを評価している。 【指定管理者に対する意見】
	29	来院者が安全に利用できるよう、来院者の安全確保及び誘導ができているか また駐車場や送迎バスなどの案内を適切に行っているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	30	良好な衛生環境を保つために、日常清掃、定期清掃、及び使用頻度等に応じて特別な清掃を適切に行っているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	31	病院運営に係る廃棄物(ゴミ)、医療行為に関係して排出される医療廃棄物が適切に処分されているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	32	植栽の管理を適切に行い、病院の景観を良好に保っているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
4.情報管理	33	情報の機密性、完全性、可用性を確保し、維持しているか また情報管理に関する方針を明確にし、患者の個人情報・プライバシーを適切に保護しているか(研修の実施など)	3	【令和7年度の実績について】 11月に個人情報保護に関する研修を開催した。また、情報セキュリティについて、実際に送られてきた標的型攻撃メールの内容と対応策を全職員に共有することで情報セキュリティに対する意識の向上を図った。 【令和8年度に向けて】 研修による職員の意識向上を継続するとともに、法人本部と連携してサイバー攻撃等に対するセキュリティ対策のさらなる強化に取り組む。	3	【市の評価】 適切に運用している。 【指定管理者に対する意見】 法人本部を含む組織全体のネットワークセキュリティ対策を継続的に強化するとともに、情報セキュリティ研修をさらに充実させ、職員の意識の向上を図ること。

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
5.危機管理	34	市立総合医療センターの管理運営に係る収入及び収支の状況について、適切に帳簿に記載し証拠書類を保存しているか また本業務に係る文書を適切に管理し、指定期間終了後には、本業務に係る文書を市又は市が指定する者に引き継ぐことができる状態か	3	【令和7年度の実績について】 収支状況等の証拠書類等は、法人本部と連携し適切に保存管理している。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切な管理を行うとともに、保存期間の終了した書類について適切に廃棄処理を行う。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	35	市立総合医療センターの利用に係る料金は、病院使用条例に定める範囲内において、指定管理者の収入として適切に収受されているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	36	川西市地域防災計画、川西市水防計画、川西市国民保護計画、新型インフルエンザ対策等における病院の役割を担っているか	3	【令和7年度の実績について】 ① 部署毎にアクションカードを活用した防災時訓練と連絡網の確認を行い、実施状況を共有した。 12月に防災訓練として、従前から実施している「災害対策本部の設置と本部機能のシミュレーション」に加えて新たに「トリアージと患者搬送訓練」を実施した。 【令和8年度に向けて】 市担当部局と川西市地域防災計画等の整合を図り、センターの役割を再定義する。また、継続的な訓練で受入体制を強化するとともに、BCPの見直しを通じて有事の病院機能維持に万全を期す。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	37	新興感染症等について県から感染者の受け入れ要請等があった場合は、公立病院として速やかに適切な医療を提供できる体制を整備できているか	4	【令和7年度の実績について】 ① 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等の感染症重症例を積極的に受け入れ、入院加療を行うことで公立病院としての役割を担った。 ② 近隣施設のクラスター発生時はラウンド(巡回指導)を行い、感染拡大防止に努めた。 職員の感染対策意識の向上を図るため、研修会を8月と3月に開催した。Web会議方式と参集型(会場開催)で1回ずつ実施することで状況に応じた柔軟な研修運営を行った。 【令和8年度に向けて】 地域に対する感染対策研修の充実と情報発信を継続するとともに、災害時における感染者受入体制の構築及び備蓄の整備に取り組んでいく。	4	【市の評価】 全室個室病床という特性を生かし、感染症の重症患者を積極的に受け入れるとともに、研修などを通じて職員の感染対策への意識向上を図っている。 【指定管理者に対する意見】
	38	医療安全確保に向けた体制が確立しているか(ヒヤリハットレポート報告件数、医療事故報告件数など)	4	【令和7年度の実績について】 専従の医療安全管理者を配置し、例月医療安全管理委員会を開催し報告事例の共有と対応の協議、医療安全マニュアルなどの見直しを行った。 診療の現場から報告されるヒヤリハット(誤った医療行為などが患者に実施されるまでに発見された事例など)について、現場検証を実施し、検証結果に基づき部門間の調整を行うことで業務改善を図った。 ③ センターのインシデント報告件数は月平均250.3件。 ④ 全職員を対象とした研修を2回実施し、内1回は外部講師を招いて実施した。 ⑤ インシデントレベル3b以上及び重要事例について、院内で事例検討会を開催し原因の究明、対策について協議することで再発防止を図った。 【令和8年度に向けて】 重大事象が発生した場合は、速やかに原因を究明し、二度と繰り返さないための再発防止策を講じるとともに、実施状況を客観的に評価する仕組み(PDCAサイクル)を徹底し、病院全体で医療安全の質の向上に継続して取り組んでいく。	4	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
6.報告・届出	39	施設基準や各種認定・指定など、適切に管理できているか また市へは提出一週間前の報告を順守しているか	3	【令和7年度の実績について】 適切に行った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 市への提出物の期限遵守については、改善され適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
7.情報発信	40	病院運営に関して地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、必要な情報を地域等へわかりやすく発信しているか(ホームページのアクセス数、広報紙の発刊数など) また、市民等を対象とした地域医療に対する啓発活動への取組みや市民講座などが適切に行われているか	4	【令和7年度の実績について】 ① センターのホームページ閲覧件数は、月平均26,603件で6年度の26,990件をわずかに下回った。 市民向けに、市民医療講演会(2回)、出張健康講座(3回)、市民医療講座(3回)を行った。出張健康講座については前年度より2回多く開催することができた。 ③ 株式会社阪急阪神百貨店が主催する「ぴいぷう・子育てマルシェ」に参加した。 ④ 市広報誌「milife」にてセンターのコラムが掲載された。また、センター広報紙「セセラギ」を昨年度と同様に年2回発刊した。 【令和8年度に向けて】 ホームページは閲覧状況の分析に基づき、利便性と内容の充実を図る。また、令和7年度に作成した患者支援センターのパンフレットを有効活用しつつ、新たに病院パンフレットの作成に着手することで、多角的な媒体を通じた住民視点の積極的な情報発信に努める。	3	【市の評価】 市民医療講演会、出張健康講座の開催や広報紙を発刊する等、市民への情報発信に努めている。 【指定管理者に対する意見】
	41	掲示板などを用いて、診療科や担当医師の一覧等、患者にとって必要な情報を適切にアナウンスできているか	3	【令和7年度の実績について】 掲示板を増設する等、情報発信の充実を図った。 【令和8年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 掲示板による情報発信に努めている。 【指定管理者に対する意見】
合計点数			141点 /164点		139点 /164点	

その他報告事項 (取組の詳細・方針など)	
-------------------------	--